



一隅を照らそう
5月号
340号
毎月28日発行
E-mail: info@tougakuin.jp



七仏通戒偈

住職 中島 有淳

仏教は基本的に「悪いことはするな、善いことをせよ」と説きます。非常に単純明解です。善いことは後に後悔が無いが、悪事は自分のしたことを誰も知らないようにと望み隠しごとをする。それは卑しい事である、というものです。
このことは、お釈迦さまが出現する以前に出た仏が、共通して受持したといわれる戒めの偈にみられます。
現在でも仏教徒に共通して読誦されています。

諸悪莫作 (諸々の悪をなすなかれ)

衆善奉行 (諸々の善を奉行せよ)

自淨其意 (みずからその心を清くする)

是諸佛教 (これ諸仏の教えなり)

このことについては、有名な物語もあります。

中国の白樂天(七七二〜八四六)が、山の中に住んでいる鳥窠道林禪師(七四一〜八二四)を訪ねた時の話です。

その禪師は高い木のまたの枝が分かれた所に坐って、足を組んで坐禅をしてました。それを見た白樂天が「ああ、危ない」と言いました。すると禪師が「三界の火に包まれた家の中にいながら、気がつかない衆生の方がもっと危ない」といって白樂天をやりこめてしまいます。

そこで白樂天は「いかなるか仏道の大義」と、仏教の究極の意味を質問します。すると禪師が「七仏通戒偈」の文句つまり、善い…、悪い…と答えます。白樂天が「そんなことなら三歳の子供でも知っている」と答えます。
すると禪師が「三つの子供でも知っているが、八十歳の老翁といえどもこれを行ふこと難し」とピシャと返しました…。

これによって白樂天は、禪師のお弟子になったという逸話です。日本でも明恵上人(一一七三〜一二三三)が、木の上で坐禅している絵画は有名です。このように「七仏通戒偈」は真理の言葉(偈)として古くから言い伝えられ仏の教えとして重んじられてきました。

さらにその実践方法として在家の人に「五戒」を説くのです。

(一)生きものを殺すなかれ(不殺生戒)殺させてもならぬ

・インド独立の父、ガンジーの提唱でアヒンサーと呼ばれる政治・社会的な場面にもその意味を広げ、後のアメリカのキング牧師にも受け継がれた無抵抗運動は有名。

(二)盗むなかれ(不偷盜戒)

・インドの古典では泥棒は職業の一つであったという。

(三)邪淫を行うことなかれ(不邪淫戒)

・遊女アンババリーは仏に帰依し、マンゴーの林を寄進。

(四)偽りを語るなかれ(不妄語戒)

こうした「五戒」とともに教えとして「四諦」「や」「八正道」

を説くのです。仏の教えは人間の心の有り様を正しく保つようにいつも説いています。

折りふしのはな

花は満開のみを
賞でるものかは

境内は満開のつつじの花で

とても賑やかです

とりわけ 私は

花が開く寸前の

「これから咲くぞ」と

パワーをいっぱい秘めている時が

大好きです

花も人と同じ

生命があります

雨の日 風の日

凍てつく中 日照りの中

一生懸命 生きているのです (遊)



五月行事案内

◎五月八日 午後二時

薬師如来大護摩供修行

◎五月十二日 午後二時

智泉院法要日(於・日本橋茅場町)

◎五月十八日 午後二時

観音経読誦法要(於・神木観音堂)

◎五月二十八日 午後二時

不動明王大護摩供修行

*毎朝六時より公開で朝のお勤めをしております
ご都合のよろしい時にはご一緒どうぞ

ご希望の方には
お札を授与しております

5/14(土) 月例
「止観(坐禅)会」9:30-10:30
「法華経を読む会」11:00-12:00

あとがき



Keiko

ロシアがウクライナに侵攻して二ヶ月。状況は良くなるどころか、悪くなる一方。市民の犠牲がなんとも痛ましい。

フランス大統領選はマクロン氏が再選(4/24)。欧州の政治が熱いのはロシアのせい。アメリカと同様分断が深刻。EUの議長国として期待。

○つつじ見物の方に、もっと仏教の魅力を感じて欲しい…との想いから、本堂前に図書コーナーを設けます。昨年好評だった「等覚院書林」。「ゴールデンウィーク前半に開架します。(副)

○月例行事に欠かさず参加されるご信徒F氏の監修で、「等覚院周辺グルメマップ」が完成。来山される多くの方に、寺の近隣にも関心を寄せて頂けます様に。(副)

○インターネットの「note(ノート)」というサービスで、日々の雑感やできごとなどを不定期で綴り始めました。遠方の方にも寺の雰囲気伝わります様に。ご笑覧下さい。(副)